

【疾病発生情報】カナダにおける高病原性鳥インフルエンザ（H5N2）の発生について

カナダ ブリティッシュ・コロンビア州における高病原性鳥インフルエンザ（H5N2）の発生について、OIEへの報告（緊急報告）及びカナダ食品検査庁（CFIA）よりプレスリリース等の公表がありましたのでお知らせします。

なお、我が国は本発生に伴い、2014年12月3日付けでカナダ ブリティッシュ・コロンビア州からの生きた家きん及び同国全土からの家きん肉等の輸入を一時停止し、同日付けでプレスリリースを公表しております。

【出典】

OIEウェブサイト：2014年12月3日付け

http://www.oie.int/wahis_2/public/wahid.php/Reviewreport/Review?reportid=16660

（OIE情報は更新・差替えが行われる場合がありますので、出典元も併せて御確認下さい。）

CFIA公表資料

①（12月2日）<http://news.gc.ca/web/article-en.do?nid=911019>

②（12月3日）<http://www.inspection.gc.ca/animals/terrestrial-animals/diseases/reportable/ai/statement-2014-12-03/eng/1417644590985/1417644674399>

③（12月4日）<http://news.gc.ca/web/article-en.do?nid=912029>

【概要】

- ・発生数：2件（緊急報告）
- ・血清型：H5N2（高病原性）
- ・発生日：2014年11月30日
- ・臨床徴候あり
- ・OIEへの報告日：2014年12月3日

【発生状況】

- ・発生場所：ブリティッシュ・コロンビア州 アボッツフォードの農場

【動物種】	【飼育羽数】	【症例数】	【死亡数】	【淘汰数】	【と畜数】
肉用七面鳥	11,000	5,500	5,500	0	0

- ・83日齢の肉用七面鳥を飼育する農場

- ・発生場所：ブリティッシュ・コロンビア州 チリワックの農場

【動物種】	【飼育羽数】	【症例数】	【死亡数】	【淘汰数】	【と畜数】
ブロイラー種鶏	7,000	700	700	0	0

- ・当該農場には3戸の鶏舎があり、感染した1戸の鶏舎では24週齢の鶏群を飼育
- ・残り2戸の隣接する鶏舎では、それぞれ47週齢の鶏群及び1週齢の雌鳥を飼育しており、感染はしていない

【疫学情報】

- ・ 感染源：不明又は調査中
- ・ 24-48時間以内の死亡率はチリワックの発生では10%、アボッツフォードの発生では50%
- ・ CFIAによると、ブリティッシュ・コロンビア州当局での検査により、発生農場の1つから鶏を導入した2つの農場において臨床所見が認められ、鳥インフルエンザ（H5）陽性が推定される（訳注：presumptive positive）。CFIAにおいてさらなる検査を実施予定。

【対応】

- ・ 隔離
 - ・ ワクチン接種禁止
 - ・ 患畜を治療対象としない
 - ・ 淘汰
 - ・ 国内における移動制限
 - ・ スクリーニング
 - ・ ゾーニング
 - ・ 施設等の消毒実施
- 実施予定

【発生地図】

